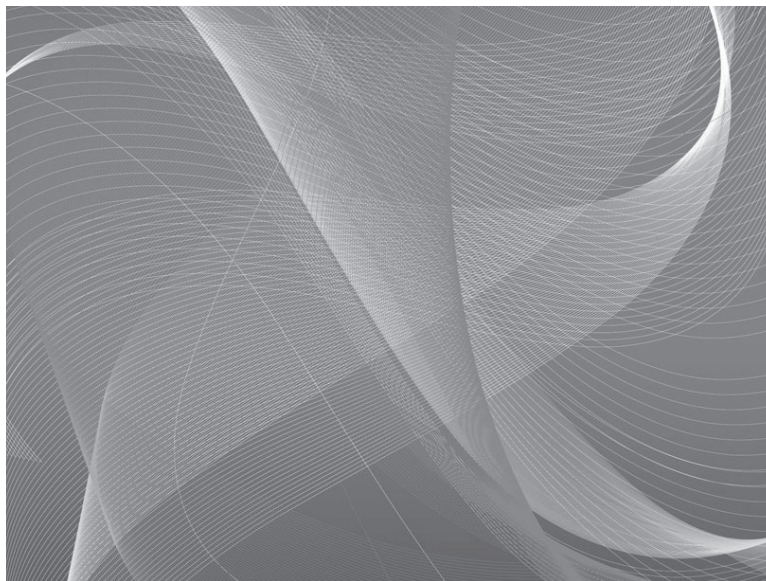


BOX型Day&Night AHDワンケーブルカメラ

SCB-6003VPN/TE



TB EYE

BOX型Day&Night AHDワンケーブルカメラ

SCB-6003VPN/TE



取扱説明書

免責事項について

株式会社ディービーアイは 取扱説明書の完全性および正確性について万全を期しておりますが、その内容について公式に保証するものではありません。
この取扱説明書の使用およびその結果については、すべてユーザーが責任を負うことになります。

* 設計および仕様は予告なく変更する場合があります。

安全のために

	注意 感電の危険性あり 開けないでください	
注意 感電の恐れがあるため、本体を分解しないでください。修理は販売代理店にお問い合わせください。		



この記号は、本製品には感電する恐れのある高圧電流が存在することを示しています。



この記号は、本製品の操作およびメンテナンスに関する重要な付属説明書があることを示しています。

警告

- 火災や感電の恐れがあります。製品を雨や湿気に晒さないでください。
- 損傷を防止するため、本製品を設置説明に従ってしっかりと取り付けてください。

警告

1. 必ず仕様書で指定されている標準アダプタを使用してください。他のアダプタを使用すると、火災、感電、製品の故障の原因になります。
2. 電源コードを誤って接続すると、爆発・火災・感電など故障の原因になります。
3. 1つのアダプタに複数のカメラを接続しないでください。許容能力を超えると異常な発熱や火災の原因になります。
4. 電源コードを電源コンセントにしっかりと差し込んでください。接続が完全でないと火災の原因になることがあります。
5. カメラを設置する際にしっかりと固定してください。カメラの落下は人身事故などの原因になります。
6. カメラの上に伝導体(例: スクリュードライバ、硬貨、貴金属など) や水の入った容器を置かないでください。火災、感電、物体の落下に起因する人身事故を招くことがあります。

安全のために

7. 本製品を湿気や埃、すずのある場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
8. 異臭や発煙が発生したら、製品の使用を中止してください。このような場合にはただちに電源をオフにして、販売代理店にお問い合わせください。このような状態で使用し続けると、火災や感電の原因となります。
9. 本製品が正常に動作しない場合は、販売代理店にお問い合わせください。本製品は絶対に分解または改造しないでください。(当社は無許可の改造や修理ミスに起因する問題に対して責任を負いません)
10. お手入れの際、製品のパーツに直接水を噴霧しないでください。火災や感電の原因になることがあります。

注意

1. 製品に物を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。過度の振動や磁器妨害のある場所に近づけないでください。
2. 高温(55°C以上)、低温(-10°C以下)、高湿度の場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
3. 一度取り付けた製品を移動する場合には、電源がオフになっていることを確認してから移動あるいは設置してください。
4. 雷雨のときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。この作業を怠ると製品の発火や損傷の原因になります。
5. 直射日光や放熱源に近づけないでください。火災の原因となります。
6. 通気性のいい場所に設置してください。
7. CMOSイメージセンサーに損傷を与える可能性があるので太陽のような極度に明るい物体にカメラを直接向けないようにしてください。
8. 機材に液体をこぼしたりかけたり、液体が入った物体を機材の上に載せたりしないでください。
9. 電源プラグは切断用デバイスとして使用します。いつでもすぐに操作できるようにしなければいけません。
10. カメラを放射能にさらさないでください。放射能にさらすと、CMOSが破損する場合があります。

1. 本書の説明をよく読んでください。
2. 本書の指示を守ってください。
3. すべての警告に留意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. 本製品を水のそばで使用しないでください。
6. お手入れは乾いた布のみを使用して行ってください。
7. ラジエータ、熱レジスタ、あるいは熱を発するその他の装置（アンプなど）などの熱源のそばに設置しないでください。
8. メーカーが指定する付属品のみを使用してください。
9. 三脚、ブラケットはメーカー指定のもの、あるいは製品と一緒に販売されたもののみを使用してください。
10. 雷雨のときまたは長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
11. すべての修理は販売代理店にご依頼ください。装置内に液体がこぼれた、あるいは異物が混入した、製品を雨または湿気にさらした、正常に動作しない、あるいは落としたりなど、装置になんらかの損傷を与えた場合は、修理を依頼してください。

目次

はじめに	7	特徴
	8	パッケージ内容
	9	部品の名称と機能
	11	レンズ
接続	14	専用VPカメラユニット(電源供給装置)の接続
	15	モニターへの接続
	16	RS-485インタフェースによる制御
	17	同軸通信の使用
カメラ動作	18	メニュー設定
トラブルシューティング	31	トラブルシューティング
仕様	32	仕様
	34	外形寸法

はじめに

特徴

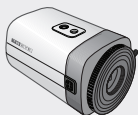
- **高解像度**
2メガピクセルのCMOS撮像素子を使用することにより、水平解像度1000本の鮮明な映像が提供されます。
- **高感度**
内蔵の高感度COLOR CMOSにより、鮮明な映像を生み出します。
- カラー : 0.15ルクス (F1.2, 50IRE), 0.09ルクス (F1.2, 30IRE)
 白黒 : 0.015ルクス (F1.2, 50IRE), 0.009ルクス (F1.2, 30IRE)
- **SSNR4 (Super Noise Reduction)**
高性能なNVP2440Hチップは、暗い光源でのゲインノイズと残像を効果的に解消して、暗い環境でも鮮明な画像を提供します。
- **Day&Night**
このカメラには、昼間または夜間の環境に適したモードを自動的に選択する機能があります。COLORモードは昼間の環境で動作して最適なカラーを提供し、B/Wモードでは、近赤外光にまで感度を広げて、高感度化を実現します。
- **プロフィール**
カメラの設置条件に応じてモードを設定できます。
- ベーシック, DAYNIGHT, 逆光補正, ITS, 室内, USER
- **D-WDR**
対象物の明るい部分と暗い部分のばらつきが大きい場合、明るい部分は明るいままにし、選択した暗い部分を明るくするため、全体的に明るく表示します。
- **DCドライブレレンズのサポート**
OSDの設定により、使用レンズに合わせて、オートアイリスをDCの各方式に合わせる事ができます。
- **その他の機能**
HLC (ハイライト補正)、REVERSE、D-ZOOM、SHARPNESSおよび PRIVACY機能が用意されています。
- **通信**
同軸通信方式およびRS-485通信方式がサポートされています
- 同軸通信 : ACP (アナログコアキシャルプロトコル)
- RS-485通信 : Samsung-T, Samsung-E, PELCO-D, PELCO-P, BOSCH, HONEYWELL, VICON, PANASONIC, GE, AD

はじめに

- ワンケーブル対応
専用VPカメラユニットを使用すると、同軸ケーブル経由で電源重畳ができます。
- OSD
16の異なる外国語O.S.Dを使用することにより、カメラ操作が容易になります。
- 英語、日本語、スペイン語、フランス語、ポルトガル語、韓国語、ドイツ語、イタリア語、ロシア語、
ポーランド語、チェコ語、ルーマニア語、セルビア語、スウェーデン語、デンマーク語、トルコ語。

パッケージ内容

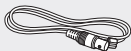
製品パッケージに次のものが含まれていることを確認してください。



SCB-6003VPN/TE



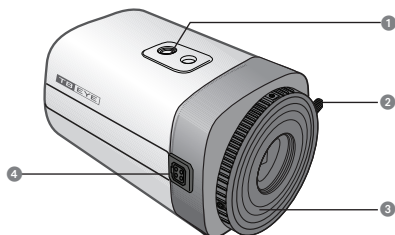
取扱説明書



テストモニター用ケーブル

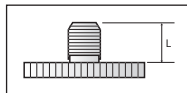
部品の名称と機能

前面




① 三脚取付けブラケットのネジ穴:

- カメラをブラケットに固定するために使用します。この穴用のねじのサイズは以下の通りです。
1/4インチ-20 UNC (20 ネジ)
L4.5mm±0.2mm (ISO 規格), または 0.178"
(ASA 規格)

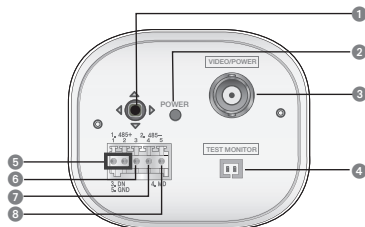


- ② フランジバックフォーカス調整レバー: レンズ調整用のマージンを確保します。
- ③ レンズアダプター: レンズを使用する場合にこれをインストールします。
- ④ 自動絞りレンズ用コネクタ: 自動絞りレンズの接続端子。

-  ■ オートシャッターアダプタ、Cマウントアダプタおよび支持ボードはカメラに同梱されていません。
- カメラの取り付けに関しては、三脚に関するインストール済みの文書をご確認ください。

はじめに

背面



- 機能設定スイッチ: 画面にメニューを表示し、カーソルを4方向に移動して、ステータスを確認したり選択した項目を変更します。
- 電源LED: このランプは、カメラに電源が供給されているときに点灯します。
- VPジャック: 電源入力、映像出力
- 設置用映像出力端子: カメラ設置時に映像確認のため、モニターと接続して使用します。
機能設定スイッチを5秒間長押しするとカメラがSDモードに変わります。
- カメラの初期設定はAHDモードです。AHDモードとSDモードの切替は機能設定スイッチを5秒間長押ししてください。
AHD: HD Video出力(1920 x 1080), SD: SD(960H)video 出力
- RS-485制御ポート: このポートを介し、RS-485通信がサポートされているリモコンなどの外部コントローラを使用して、SETUPメニューを制御することができます。
- D & N入力ポート: 外部信号をこのポートに接続して、昼/夜モードを切り替えることができます。
- モーション検知出力ポート: モーション検知信号は、このポートから出力されます。
- アース端子

※ 外部入出力ポート設定

番号	名前	入出力の方向
1	RS-485+	I/O
2	RS-485-	I/O
3	DN	I
4	MD	O
5	GND	-

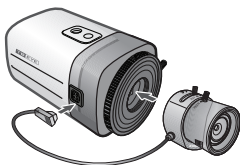
レンズ

レンズはこのカメラには同梱されていません。環境に適したレンズを購入してください。このカメラには、自動絞りレンズならびにCマウントおよびCSマウントレンズのいずれも取り付けることができます。

- ☑ ■ このカメラの機能を効果的に使用するには、DCタイプの自動絞りレンズを使用することをお勧めします。
- レンズの表面を清潔に保ってください。ほこりや指紋で汚れると、画質に影響します。

自動絞りレンズの使用時

1. カメラ前面の保護カバーを取り外し、オートアイリスレンズを時計回りに回して締めます。
2. オートアイリスレンズコネクタに入れます。

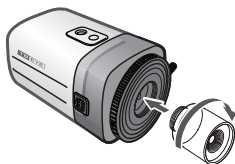


はじめに

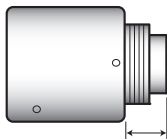
C/CSマウントレンズの使用時（別売）

レンズを取り付ける前に、取り付けるレンズがCマウントかCSマウントかを識別します。このカメラはデフォルトではCSマウントレンズ用に設定されています。Cマウントレンズを取り付ける場合には設定の変更が必要です。

- **Cマウントレンズの使用時**
本製品の正面のCMOS保護キャップを取り外し、CSマウントレンズを時計回りに回して取り付けます。



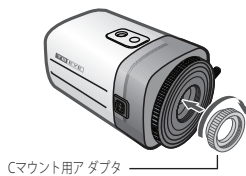
- ☞ 次図に示すレンズを使用します。コネクタの寸法が正確でない場合、カメラが損傷するか、レンズがしっかり取り付けできない可能性があります。
- レンズが重すぎる場合、カメラのバランスが悪くなり、問題が起こる可能性があります。450g未満のレンズを使用してください。
- Videoオートアイリスレンズの自動レベル制御（ALC）を調整する場合、使用可能であればAvモードを使用してください。Pkモードを使用すると、画像の明るさが絶えず変化する可能性があります。



Cマウントレンズ: 10mm以下
CSマウントレンズ: 5mm以下

• Cマウントレンズの使用時

1. 本製品のCMOS保護キャップを取り外し、Cマウント用アダプタを時計回りに回して取り付けます。



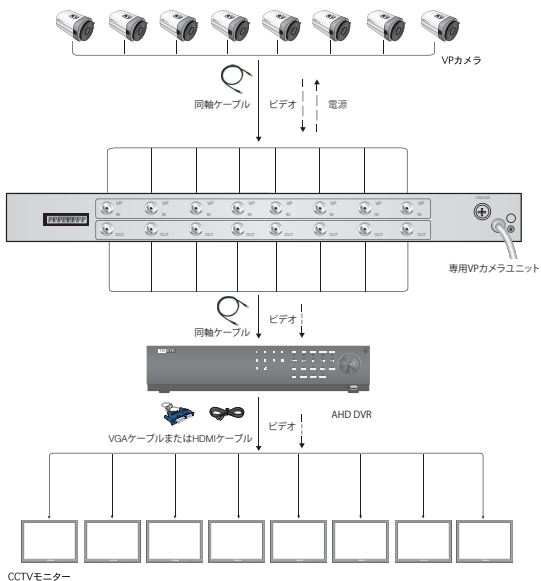
2. Cマウントレンズを右回りに回して取り付けます。



3. レンズを結合させた後で、焦点を調整します。

接続

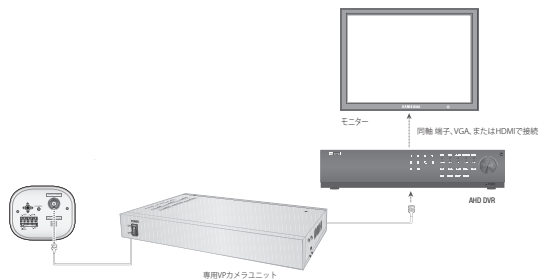
専用VPカメラユニット(電源供給装置)の接続



- VP IN/OUTケーブルを接続する際には、指定された同軸ケーブルをご使用ください。

モニターへの接続

カメラの背面にある映像出力ジャックを専用VPカメラユニットに接続してください。
専用VPカメラユニット背面のビデオ出力端子をAHD DVRのビデオ入力端子に接続します。



- 接続方法については、機器によって異なるため、機器に同梱されている取扱説明書を参照してください。
- 電源を切った後でケーブルを接続してください。

接続

RS-485インタフェースによる制御

このカメラは、リモコン(RS-485通信)などの外部コントローラを使用してOSDの設定ができます。

(1) PCで制御する場合

RS-485コンバータを介して、カメラのRS-485制御ポートとシリアルケーブルを接続します。

例) PCシリアルポート (COM1) →シリアルケーブルRS-485コンバータ→カメラのRS-485制御ポート

(2) DVRまたはシステムコントローラを使用して制御する場合

RS-485ケーブル (TRX+, TRX-)を、DVRまたはシステムコントローラに接続した485コントロールボードの接続ポートに接続します

485コントロールボードの接続ポート	RS-485制御ポート
(+) 接続端子 (TRX+)	485+
(-) 接続端子 (TRX-)	485-

* RS-485通信設定初期値

項目	カメラID	BAUD RATE	通信モード	データ受信
初期値	1	9600	8-NONE-1	使用



- 通信プロトコルはSAMSUNG-T、SAMSUNG-E、PELCO-D、PELCO-P、BOSCH、HONEYWELL、VICON、PANASONIC、AD、およびGEが使用可能です。

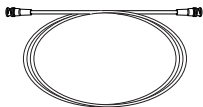
同軸通信の使用

- 同軸通信システム
- OSDによる制御方法

カメラ	DVR	コントローラ
設定	MENU/ENTER	OSD KEY
上	上キー	ジョイスティック: 上
下	下キー	ジョイスティック: 下
左	左キー	ジョイスティック: 左
右	右キー	ジョイスティック: 右



- ビデオケーブル
カメラのビデオ出力端子は、必ず下記のような同軸ケーブルを使用して配線してください。



距離	推奨ケーブル仕様
500m	5C2V
200m	3C2V

- 同軸ケーブルは、銅メッキの編組線ではなく、純銅の編組線製の物を使用してください。映像ノイズや通信などで不具合の原因となります。

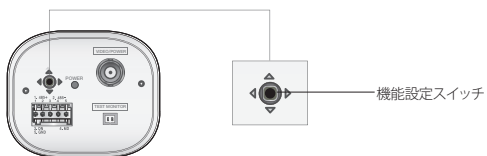
カメラ動作

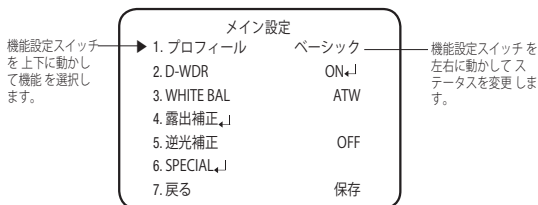
メニュー設定

メイン設定			
プロフィール	● ベーシック ● ITS	● DAY/NIGHT ● 室内	● 逆光補正 ● USER
D-WDR	● ON	● OFF	
WHITE BAL	● ATW ● MANUAL	● 室外 ● AWC → SET	● 室内
露出補正	● BRIGHTNESS ● AGC	● レンズ ● SSNR4	● SHUTTER ● 戻る
逆光補正	● OFF	● USER BLC	● HLC
SPECIAL	● DISPLAY ● DAY/NIGHT ● 動作	● 通信設定 ● DEFOG ● 戻る	● IMAGE 機能 ● PRIVACY
戻る	● 保存	● 保存なし	● RESET


メニュー設定

カメラの機能設定スイッチを使用します。





- 機能設定スイッチを押します。
 - MAIN設定メニューがモニター画面に表示されます。
- 機能設定スイッチを使用して目的の機能を選択します。
 - 目的の項目の上にカーソルを置きます。
- 機能設定スイッチを使用して、選択した項目を設定します。
- 設定を終了するには、「戻る」を選択して機能設定スイッチを押します。

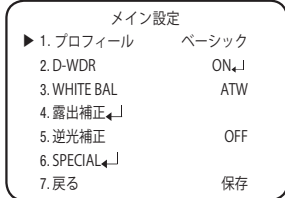
-  ■ ◀アイコンがある項目にはサブメニューもあります。サブメニューを選択するには、アイコンがある項目を選択し、機能設定スイッチを押します。
- ---アイコンが表示された項目は、機能設定により使用不能です。

プロフィール

- MAIN設定メニュー画面が表示されているときに、上下ボタンを使用して「プロフィール」を選択し、矢印が「プロフィール」を指すようにします。

- 目的の画像表示に応じて、機能設定スイッチを使用して使用目的に適したモードを選択します

- ベーシック：最も一般的な環境に合うように設定されています。
- DAY/NIGHT：一般的な昼/夜間における連続監視に適したモードに設定します。夜間時は白黒になります。
- 逆光補正：逆光下の物体監視に適したモードに設定します。
- ITS：交通の監視に適したモードに設定します。
- 室内：室内照明下での監視に適したモードに設定します。



カメラ動作

- USER: 上記の各モードの一部を変更した場合や監視環境に合わせて独自に設定した場合のモードです。
 - 1) 簡単設定モードでカスタムを選択します。
 - 2) カスタム設定に合わせてメニューオプションを設定します。
 - 3) 設定は自動的にカスタムモードとして保存されます。
 - 4) プロファイルのユーザー定義モードでは、メニューをリセットしたときに初期化は行われません。
- 3. PROFILEメニューにおいて、各モードと各機能の設定関係は下表の通りです。

	ベーシック	DAY/ NIGHT	逆光補正	インテリジェンス ・システム(ITS)	室内	USER
SHUTTER	1/5~1/12000	1/5~1/12000	1/5~1/12000	1/200~1/12000	A.FLK	-
AGC	高	高	高	高	高	-
WHITE BAL	ATW	ATW	ATW	室外	室内	-
逆光補正	OFF	OFF	USER BLC	OFF	OFF	-
SSNR4	ON	ON	ON	ON	ON	-
DAY/NIGHT	AUTO	AUTO	AUTO	AUTO	AUTO	-



- ITSモードを選択した場合、シャッターは1/200秒に設定されます。夜間にノイズが発生する場合があります。

D-WDR

対象物の明るい部分と暗い部分のばらつきが大きい場合、明るい部分は明るいままにし、選択した暗い部分を明るくするため、全体的に明るくなるように表示が可能です。

1. MAIN設定メニュー画面が表示されているときに、機能設定スイッチを使用して'D-WDR'を選択し、矢印が'D-WDR'を指すようにします。
2. 機能設定スイッチを使用して目的のモードを選択します。

- **LEVEL:** パーを1~32で操作して、D-WDR輝度を調整します。



<D-WDRオン>



<D-WDRオフ>

WHITE バランス (White Balance)

画面の色を調整する場合は、ホワイトバランス機能を使用します。

1. MAIN設定メニュー画面が表示されているときは、機能設定スイッチを使用して'WHITE バランス'を選択し、矢印が'WHITE バランス'を指すようにします。
2. 機能設定スイッチを使用して目的のモードを選択します。

メイン設定	
1. プロフィール	ベーシック
2. D-WDR	ON \downarrow J
▶ 3. WHITE BAL	ATW

※ 目的に合わせて、次の6つのモードのいずれかを選択します。

- ATW: 色温度が1,800K~10,500Kの場合に選択します。
- 室外: 1,800K~10,500Kの色温度の範囲内で使用してください(ナトリウムを含む)。カメラ側の色を屋外環境に最適化させるために自動調節が行われます。
- 室内: 色温度が4,500K~8,500Kの場合に選択します。室内環境に最適化させるために自動調節が行われます。

- MANUAL:
ホワイトバランスを手動で微調整する場合に選択します。まず、ATWモードまたはAWCモードを使用して、ホワイトバランスを設定します。スイッチをMANUALモードにしたら、ホワイトバランスを微調整してから機能設定スイッチを押します

WB MANUAL	
▶ 1. レッドゲイン	110
2. ブルーゲイン	138
3. 戻る \downarrow J	

- AWC → SET: 現在の環境に最適なホワイトバランスを見つけるには、カメラを白い紙の方向に向けて機能設定スイッチを押します。環境が変わった場合は、再調整を行ってください。



- 次の条件では、ホワイトバランスが適切に機能しないことがあります。その場合は、AWCモードを選択してください
 - ① 被写体の周囲環境の色温度が制御範囲外の場合(例: 快晴、日没)に選択します。
 - ② 物体の周囲の照明が薄暗い場合
- カメラが蛍光灯に向いているか、照度が大きく変化する場所に設置されている場合には、ホワイトバランスの動作が不安定になることがあります。

カメラ動作

露出補正

1. MAIN設定メニューの画面が表示されているときに、機能設定スイッチを使用して露出補正を選択し、矢印が「露出補正」を指すようにします。
2. 機能設定スイッチを使用して目的のモードを選択します

- BRIGHTNESS: ビデオの明るさを調整します。
- レンズ: この機能を使用して、画面の明るさを調整できます。
- DC: 自動絞りレンズが選択されます。

露出設定		
▶ 1. BRIGHTNESS	----*----	50
2. レンズ		DC◀
3. SHUTTER◀		
4. AGC		高
5. SSNR4		ON◀
6. 戻る◀		

- アイリス速度 (DC): DCレンズの絞り調整速度を調整します。調整速度が極端に遅いか速い場合に、このメニューを使用して調整します。
- フォーカス調整 (DC): レンズのフォーカスを正しく調整するためにフォーカス設定モードを起動させます。
- Manual: このモードでは、シャッターは自動的に動作せず、最大限に固定されます。



- BRIGHTNESS LEVELの設定によっては、正しく動作しないレンズもあります。

- SHUTTER: シャッターモードを選択できます。
 - 最小: 1 ~ 1/12000
 - 最大: 1/60 ~ 1/12000
 - A.FLK: 画像がちらつく場合に選択します。ちらつきは、設置された光源の周波数との不調和によって発生します。



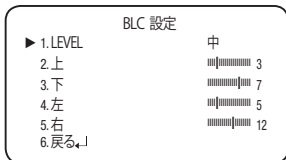
- シャッター値が大きくなるほど画面は明るくなるが、残像が大きくなります。
- 最小シャッター値が大きくなるとノイズ、スポット、白くなる現状が出る場合がありますが、正常動作状態です。
- 露出メニューでAGCモードを使用しなかった場合、1/60秒より上は設定できません。
- 最小/最大シャッターの設定値によって、映像が飽和状態になる場合があります。
- AGC (OFF/低/中/高): ゲインレベルが高いほど、画面は明るくなりますが、その一方でノイズが増大します。

- SSNR4: この機能を使用すると、光の弱い環境でのバックグラウンドノイズが軽減されます。
 - OFF: SSNR4を無効にしてノイズが減らされないようにします
 - ON: SSNR4を有効にしてノイズを減らします
- ☑ ■ ノイズリダクションレベルをSSNR4モードで調整する場合、レベルを高く設定するほど、ノイズレベルが下がり残像が発生します。

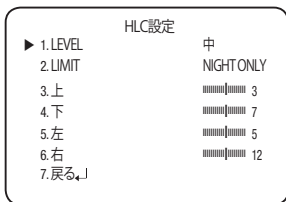
逆光補正

このカメラは、当社独自のNVP2440Hチップを採用して逆方向からの光が強い場合も被写体と背景を鮮明に表示できるように設計されました。

1. MAIN設定メニュー画面が表示されているときに、機能設定スイッチを使用して逆光補正を選択し、矢印が逆光補正を指すようにします。
2. カメラの目的に応じて、機能設定スイッチを使用して目的のモードを選択します。
 - USER BLC:
 - 画面内の枠エリアは、可変する事ができます。この時、枠エリア内が最も見やすい画像になる様に自動調整します。
 - LEVEL: 監視エリアの明るさのレベルを調整します。
 - 上/下/左/右: エリアを調整します。
 - 戻る: メイン設定メニューへ戻ります。



- HLC (ハイライト補正):
 - この機能は強い光をマスクすることで、露出オーバーによるホワイトアウトを最小限に抑え、カメラを強い光源に向けたときに画面上の大部分が保持されるようになります
 - LEVEL: 監視エリアの明るさのレベルを調整します。
 - LIMIT: 操作条件を変更できます。
 - 上/下/左/右: エリアを調整します。
 - 戻る: メイン設定メニューへ戻ります。



カメラ動作

- ホワイトバランスメニューをマニュアルに設定した場合、HLCの性能は制限される場合があります。
- Defog機能とHLC機能を同時に使用した場合、明るい環境で飽和状態になる場合があります。
- HLCの効力は、画面内の光の部分の量によって異なる場合があるため、HLCの性能が最大限になるよう、取り付け角度を調整してください。
- 暗いとき、HLCが作動するのは、鮮明な光が特定のサイズを超えたときのみです（夜間専用モード）。
- HLCは日中または鮮明な光が夜間にないときには作動しません（夜間専用モード）。

SPECIAL

1. MAIN設定メニュー画面が表示されているときに、機能設定スイッチを使用して‘SPECIAL’を選択し、矢印が‘SPECIAL’を指すようにします。
2. 機能設定スイッチを使用して目的のモードを選択します。

● ディスプレイ

- ① スペシャルメニュー画面が表示された場合、矢印がディスプレイを指すように、機能設定スイッチを使用します。
- ② 機能設定スイッチを使用して任意のモードを選択します。

- カメラTITLE

- ① DISPLAYメニュー画面が表示されているときに、機能設定スイッチを使用し、矢印がカメラTITLEを指すようにします
- ② 機能設定スイッチを使用して‘ON’に設定します。
- ③ 機能設定スイッチを押します。
- ④ 機能設定スイッチを使用して目的の文字に移動し、機能設定スイッチを押してその文字を選択します。これを繰り返して複数の文字を入力します。
- ⑤ タイトルを入力し、カーソルを‘POS’に移動して、機能設定スイッチを押します。入力したタイトルが画面に表示されます。機能設定スイッチを使用してタイトルを画面に表示する位置を選択し、機能設定スイッチを押します。位置を決定した後、‘終了’を選択し、機能設定スイッチを押してDISPLAYメニューに戻ります。



- ④ ■ カメラTITLEが'OFF'になっている場合は、タイトルを入力しても、モニター画面にタイトルは表示されません。
- タイトルは半角英数のみ使用できます。
- カーソルをCLRIに移動し、機能設定スイッチを押すと、すべての文字が削除されます。文字を編集するには、カーソルを左下向きの矢印に変更し、機能設定スイッチを押します。編集しようとする文字にカーソルを移動し、挿入しようとする文字にカーソルを移動して、機能設定スイッチを押します。
- FONT COLOR: OSDのフロントカラーを変更できます。(白、黄色、緑、赤、青)
- LANGUAGE: 必要に応じて、メニューの言語を選択できます。
- 戻る: SPECIALメニューへ戻ります。

- 通信設定 (Communication Adjustment):
外部の制御デバイスを使用してカメラのOSD設定ができます。ここでは通信に必要なパラメーターを設定します。

- ① SPECIALメニュー画面が表示されているときに、機能設定スイッチを使用し、矢印が'通信設定'を指すようにします。

- ② 機能設定スイッチを使用して目的のモードを選択します。

- PROTOCOL:
通信プロトコルを選択します。
(SAMSUNG-T, SAMSUNG-E, PELCO-D, PELCO-P, BOSCH, HONEYWELL, VICON, PANASONIC, AD, およびGE)
- カメラID: カメラの識別番号を決定します (0 ~ 255)。
- DISP ID: カメラIDが表示されているかどうかを特定します。
- BAUD RATE: 2400/4800/9600/19200/38400/57600 bpsを選択できます。
- 通信モード: パリティビットとして、NONE, EVEN, またはODDを選択できます。
- データ受信: カメラに通信制御コマンドを送信した後、コントローラデバイスにコマンドを送り返すかどうかを決定します。
- COAX: COAX通信を使用するかどうか選択できます。
- 戻る: SPECIALメニューへ戻ります。

通信調整	
▶ 1. PROTOCOL	SAMSUNG-T
2. カメラID	*-----1
3. DISP ID	OFF
4. BAUD RATE	9600
5. 通信モード	8-N-1
6. データ受信	使用
7. COAX	ON
8. 戻る	↓

カメラ動作

- IMAGE 機能
 - ① SPECIAL メニュー画面が表示されているときに、機能設定スイッチを使用して 'IMAGE 機能' を選択し、矢印が 'IMAGE 機能' を指すようにします。
 - ② 機能設定スイッチを使用して目的のモードを選択します

- GAMMA : 設定範囲は0.35~1.0です。設定値が1.0に近くなるほど、暗くなります。
- PED LEVEL : 設定範囲は1~100です。設定値が100に近くなるほど、PEDレベルは高くなります。
- カラーゲイン : 設定範囲は1~100です。設定値が小さくなるほど、カラーゲインも小さくなり、色の飽和度は減少します。

画像設定	
▶ 1.GAMMA	USER
2. PED LEVEL	1
3. カラーゲイン	50
4. H-REV	OFF
5. V-REV	OFF
6. SHARPNESS	ON ↓
7. 戻る ←	

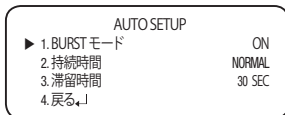
- H-REV : 画像を左右反転させます
- V-REV : 画像を上下反転させます
- SHARPNESS : 画像のシャープネスの強さのモードを選択します。画像によって、適切な値に調整します。
 - OFF : 解除
 - ON : 設定範囲は1~32です。
- 戻る : SPECIAL メニューへ戻ります。



- V-REVまたはH-REVモードが有効なとき、画面上のテキストは反転しません。
- シャープネスのレベルを最大に増やした場合、画像がゆがみ、ノイズが生じる場合があります。

- DAY/NIGHT: 画像をカラーまたは白黒で表示できます。

① SPECIALメニュー画面が表示されているときに、上下ボタンを使用して'DAY/NIGHT'を選択し、矢印が'DAY/NIGHT'を指すようにします



② 目的の画像表示に応じて、左右ボタンを使用して目的のモードを選択します。

- AUTO:

このモードは通常的环境下では“Color”に切り替えられますが、周囲の照度が低い場合は、“B/W”モードに切り替えます。AUTOモードで切替時間を設定するには、機能設定スイッチを押します。

- BURSTモード: パースト信号を有効または無効にし、カラー信号と白黒信号を選択します。OFFにより、夜間の白黒画像を鮮明にすることが可能です。
- 持続時間: Day/Nightが切り替わる輝度を選択します。

GAIN LEVEL	低		中		高	
	COLOR → B/W	B/W → COLOR	COLOR → B/W	B/W → COLOR	COLOR → B/W	B/W → COLOR
VERY SLOW	2.4	5.2	1.5	5.6	0.6	6.2
SLOW	2.5	5	1.8	5.4	1.1	6
NORMAL	2.6	4.9	2.1	5.2	1.6	5.8
FAST	2.7	4.8	2.4	5	2.1	5.4
VERY FAST	2.8	4.7	2.7	4.8	2.6	5

※ 設置環境と露出補正メニューのゲインモード設定により、切り替え輝度は異なる場合があります。

- 滞留時間: 次の中からDay/Nightの切替え応答時間を選択することができます。
→ 3s, 5s, 7s, 10s, 15s, 20s, 30s, 40s, 60s



- 暴露メニューでAGCモードをOFFに設定した場合、Day/Nightモードを自動に切り替えることはできません。
- 明るい光源が画面内にあるか、輝度の変化が頻繁なとき、Day/Nightモードを使用し、滞留時間を短(3~5秒)に設定した場合、ハンチングが起こる場合があります。この状況では、初期設定(30秒)の使用をお勧めします。
- EXTERN: 接地端子に接続すると、COLORとB/Wを外から切り替えることができます。
- COLOR: 画像は常にカラーで表示されます。

カメラ動作

- B/W: 画像は常に白黒で表示されます。B/Wモードのバースト信号をオンまたはオフに設定できます。



- カメラに取り付けたレンズが、<露出補正>メニューのレンズと異なる場合、Night/Dayモードは正常に動作しない場合があります。

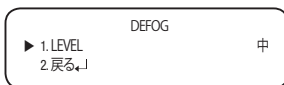
- DEFOG: Defog機能を通じてカメラが自動で画面の霧濃度を認識し、曇り・スモッグなどで視界不良の場合にも鮮明な画像を表示できます。

- SPECIALメニュー画面が表示されているときに、機能設定スイッチを使用し、矢印がDEFOGを指すようにします。

- 機能設定スイッチを使用して目的のモードを選択します。

- AUTO: レベルを自動的に調整します。
- Manual: ユーザーが設定したDefogレベルによって、画像の鮮明度を調整します (低、中、高)。

- OFF: 解除



- defogモードを自動に設定した場合、および霧の量が減った場合、機能レベルも下がります。同一レベルのDefogを維持したい場合、マニュアルに設定します。
- 霧がほとんどなく、マニュアルの霧のレベルが高かった場合、画面のコントラストが高くなる場合があります。

- PRIVACY: 画面上で非表示にするエリアをマスクします。

- SPECIALメニュー画面が表示されているときに、機能設定スイッチを使用し、矢印が"PRIVACY"を指すようにします

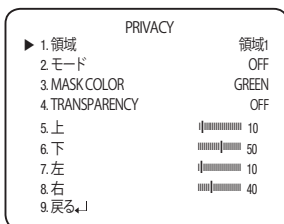
- 機能設定スイッチを使用してモードを設定します。

- 領域: PRIVACYエリアは24個まで選択できます

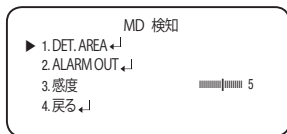
- モード: 領域で選択されている領域を使用するかどうかを決定します

- MASK COLOR: 領域の色を設定します。緑、赤、青、黒、白、灰色を選択できます。

- TRANSPARENCY: マスク領域の透明度を増加または減少させます。



- 上/下/左/右: 選択エリアのサイズと位置を調整します。
- 戻る: SPECIAL メニューへ戻ります。
- **動作:** この製品は、対象物の動きが画像の4つの領域で検知されるたびに、信号を発生します。これにより、効果的なモニタリングが実現できます。
 - ① SPECIAL メニュー画面が表示されているときに、機能設定スイッチを使用し、矢印が '動作' を指すようにします
 - ② 機能設定スイッチを使用して目的のモードを選択します。
- DET. AREA: モーション検知の領域を設定します。
 - SEL AREA: ユーザーの任意の4領域を選択します。
 - モード: 選択した領域を使用するかどうか決定します。
 - TRANSPARENCY: マスキングエリアの透過率を上げたり、透過率なしにします。
 - 上/下/左/右: 領域の場所を調整できます。
 - 戻る: MD 検知メニューへ戻ります。
- ALARM OUT: 対象物の動作が検知された場合、検知信号が出力されます。
 - EXTERNAL: 外部端末経由で信号を送ります。
 - OSD: 画面に信号が表示されます。
 - 戻る: MD 検知メニューへ戻ります。
- 感度: モーション検知の感度を設定します。レベルが高いほど、感度は上がります。
- 戻る: SPECIAL メニューへ戻ります。



- ☑
 - 対象物の形によって、サイズ検知にエラーが発生する場合があります。
 - カメラで近距離の対象物を撮影した場合、モーション検知機能のパフォーマンスが低くなる場合があります。
 - 下記の場合、モーション検知機能のパフォーマンスが落ちるか、うまく動作しない場合があります。
 - 対象物の輝度または色が背景のものと類似していた場合
 - 画面の端に近いところで動作がほとんどなかった場合
 - 複数の動作が不規則に発生し続けている場合 (例: 場面の転換や、突然の光の変更)
 - 同じ場所に固定されている対象物が動き続けた場合

カメラ動作

- カメラから離れているか、カメラに近づいている場合 画面上で位置の変更がほとんどない。
- 動作中の対象物がカメラに近づいた場合
- 任意の物体がそれぞれの物体を互いに遮っている場合
- 1つ以上の対象物が合わさるか、分かれて複数の対象物になった場合
- 対象物の動きが速すぎる場合 (連続したフレームの中で、対象物が互いに重なり合っ
て必要がある)
- 直射日光、複数の光、ヘッドライト等、強い光によって作り出された反射/ぼやけ/
影がある場合
- 激しい雪、雨および風。日没または日の出
- サイズが最大サイズより大きい場合、または最小サイズより小さい場合、動きは検知
されません。ノイズによる誤検知が生じないようにするため、取り付け環境に適した
最大/最小検知サイズを設定してください。ただし、同じ場所で同じ動きがあった場
合、別の検知サイズとなる場合があります。そのため、最小/最大検知サイズを設定
するときは、マージンを入れてください。

戻る

カメラの目的に応じて、機能設定スイッチを使用して目的の戻るモードを選択します。

- 保存: 現在の設定を保存し、MAIN設定メニューを終了します
- 保存なし: 現在の設定を保存せずに、MAIN設定メニューを終了します。
- RESET: カメラを工場出荷時の設定に戻します。(言語、通信およびレンズ設定は同じま
ま残ります)。

トラブルシューティング

トラブルシューティング

カメラの動作に問題がある場合は、次の表を参照してください。ガイドラインに従っても問題が解決しない場合は、認定技術者にお問い合わせください。

問題	解決策
画面に何も映らない。	<ul style="list-style-type: none">▶ 電源ケーブルと、カメラとモニターの間のライン接続が正しく接続されていることを確認してください。▶ BNCケーブルをカメラに正しく接続したことを確認してください。▶ レンズの種類を確認します。
画面に表示される画像が薄暗い。	<ul style="list-style-type: none">▶ レンズがほこりで汚れていませんか。柔らかく清潔な布でレンズを掃除してください。▶ モニターとDVRの設定を確認してください。▶ カメラが非常に強い光に晒されている場合は、カメラの位置を変更してください。
画面に表示される画像が暗い。	<ul style="list-style-type: none">▶ モニターのコントラスト機能を調整します。▶ 中間デバイスを使用している場合は、75Ω/Hi-z (ハイインピーダンス) を正しく設定します。
カメラが正常に動作せず、カメラの表面が熱くなっている。	<ul style="list-style-type: none">▶ カメラを正しい電源に接続していることを確認してください。
DAY/NIGHTメニューが機能しない。	<ul style="list-style-type: none">▶ 露出設定メニューのAGCがOFFになっていることを確認してください。
色が正しくない。	<ul style="list-style-type: none">▶ WHITE BAL SETUPメニューの設定を確認してください。
画面が継続的にちらつく。	<ul style="list-style-type: none">▶ カメラが太陽を向いていないことを確認してください。
同軸通信が使用不可能な場合:	<ul style="list-style-type: none">▶ カメラとモニターが推奨距離の範囲内に設置されていることを確認してください。

仕様

仕様

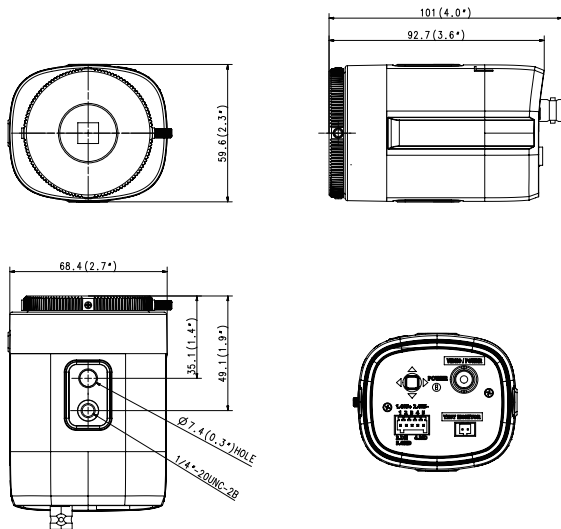
SCB-6003VPN/TE	
ビデオ	
撮像素子	1/3" 2M CMOS
合計画素数	1,956(H) x 1,266(V) 2.47M pixels
有効画素数	1,944(H) x 1,092(V) 2.12M pixels
走査システム	Progressive Scan
最低照度	カラー : 0.15ルクス (F1.2, 50IRE), 0.09ルクス (F1.2, 30IRE) 白黒 : 0.015ルクス (F1.2, 50IRE), 0.009ルクス (F1.2, 30IRE)
S/N比	52dB (AGCオフ、重み付き)
ビデオ出力	BNC(AHD)
解像度	1920 x 1080
レンズタイプ	
焦点距離 (ズーム倍率)	-
口径比	-
画角	-
最至近距離	-
フォーカス調整	-
レンズタイプ	-
マウントタイプ	C/CS
Auto Back Focus(ABF)	-
操作関連	
画面表示	英語、日本語、スペイン語、フランス語、ポルトガル語、韓国語、ドイツ語、イタリア語、ロシア語、ポーランド語、チェコ語、ルーマニア語、セルビア語、スウェーデン語、デンマーク語、トルコ語。
カメラタイトル	オフ/オン (15文字表示)
昼/夜	自動 (ICR) / 外部/ カラー/ 白黒
逆光補正	オフ/ユーザー定義BLC/HLC
ワイドダイナミックレンジ	D-WDR
デジタルノイズリダクション	SSNR4 (オフ/オン)
Defog	自動/マニュアル/オフ

SCB-6003VPN/TE	
モーション検知	オフ/オン (4ゾーン)
プライバシーマスク	オフ/オン (4ゾーン矩形)
ゲイン調整	オフ/低/中/高/最高
ホワイトバランス	ATW/屋外/屋内/手動/AWC (1,800K° ~ 10,500K°)
電子シャッター速度	1秒 ~ 1/12,000秒
デジタルズーム	非対応
反転	オフ/左右反転/上下反転/上下左右反転
プロフィール	ベーシック, Day & Night, 逆光補正, ITS, Indoor, User
アラーム	MD出力1, External D/N 1
通信	Coaxial, RS-485
プロトコル	Coax: ACP RS-485: Samsung-T, Samsung-E, Pelco-D, Pelco-P, Panasonic, Bosch, Honeywell, Vicon, AD, GE
映像伝送距離	500m (5C2V), 200m (3C2V)
環境関連	
動作温度/湿度	-10°C ~ +55°C / 90% RH 以下
電力関連	
入力電圧	専用VPカメラユニットと互換性あり
消費電力	最大4.5W
メカニカル	
色/材質	アイボリー / プラスチック
寸法 (WxHxD)	92.7 x 59.6 x 68.4mm
重量	198g

※ 製品の性能改善のため、この仕様は予告なく変更されることがあります。

外形寸法

単位: mm (インチ)



MEMO



株式会社ティービーアイ
〒104-8510
東京都中央区八丁堀2-13-8
第一長岡ビル
<http://www.tbeye.com>

copyright ©TB-eye Ltd.

Printed in China
PT01-004548A